

令和 7 年 7 月定例教育委員会会議録

日 時	令和 7 年 7 月 24 日（木）13 時 30 分～15 時 00 分
出席委員氏名	松本教育長、酒見委員、山口委員、西山委員、藤田委員
出席を求めた事務局職員	教育部長兼市民図書館長（松本）、教育総務課長（河上）、 学校教育課長（高木）、生涯学習課長（伴）、市民図書館統括管 理者（鴻上）、スポーツ課副課長（古賀）
議案等	報告第 16 号 伊万里市図書館協議会委員の委嘱について 報告事項 市町村教育委員会研究協議会報告 教育長会議報告
傍聴者	なし
開会 教育長あいさつ	ただ今から、令和 7 年 7 月の定例教育委員会を開催します。 本日は、私のほか、委員全員ご出席をいただいております、本会 議は成立となります。
議事録署名者の指名	西山委員、藤田委員
教育長	前回会議録の報告・承認にまいります。報告をお願いします。
事務局	6 月定例教育委員会の概要を報告します。 6 月定例教育委員会は、6 月 26 日（木）、第 3 会議室において 教育長及び委員 3 名の出席のもと、開催しました。議事録署名 者として、酒見委員、山口委員を指名させていただき、前回会 議録の報告を求め、承認をしたあと、教育長の報告を受け、議 案・議事の審議に入りました。 はじめに、報告第 7 号 令和 7 年度伊万里市学校運営協議会 委員の委嘱について、報告第 8 号 令和 7 年度地域学校協働活 動推進員の委嘱について、報告第 9 号 伊万里市社会教育委員 の委嘱について、報告第 10 号 中央公民館運営審議会委員の委 嘱について、報告第 11 号 伊万里市青少年問題対策連絡協議会 委員の委嘱について、報告第 12 号 伊万里市会計年度任用職員 の任用について、報告第 13 号 令和 7 年伊万里市議会第 2 回定 例会議案に対する教育委員会の意見について、これに合わせて て、関連する議案第 12 号 伊万里市公民館設置条例施行規則の

一部を改正する規則制定について、議案第 13 号 伊万里市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について説明を行い、原案のとおり承認されました。

続いて、報告第 14 号 令和 7 年伊万里市議会第 2 回定例会議案（その 2）に対する教育委員会の意見について、報告第 15 号 令和 7 年伊万里市議会第 2 回定例会追加議案に対する教育委員会の意見について、報告事項として 令和 7 年伊万里市議会第 2 回定例会について報告を行いました。

最後に 7 月定例教育委員会の日程について協議し、7 月 24 日（木）13 時 30 分から第 3 会議室で開催することと決定しました。

以上、前回会議録についての報告となります。

教育長

前回会議録についての報告がありましたが、ご質問等はございませんでしょうか。（なし。）報告のとおり承認してよろしいでしょうか。（はい。）それでは、前回会議録については承認とします。

教育長

次に教育長の報告です。

7 月は委員さん方には、佐賀県市町教育委員会連合会の総会や市教育委員会の学校訪問 2 校にご出席いただきました。また、市民図書館のほしまつりなどご活躍をいただいたところであります。本日の報告事項で、教育長会での説明や文部科学省が開催した全国市町村教育委員会教育長会議の内容について説明したいと思います。7 月のこれから先のイベントとしては、明日、市と SAGA 久光スプリングスとの連携協定式がございます。また、週末はカブトガニの産卵を観る会、7 月 29 日は、なるほど・ザ・じんけんゼミナールがスタートし、30 日は伊万里・西松浦地区教育研究大会がございます。中体連関係では、国見中男子卓球が優勝しております。また、青嶺中学校 1 年の中畠くんが硬式野球の日本ポニーベースボール協会 U-12 の日本代表に選ばれ、アジア大会で優勝し、アメリカの大会に出場するそうです。7 月 19、20 日に国見台球技場で開催された JOC ジュニアオリンピック（九州大会）でも伊万里ホッケークラブが男女ともに優勝し、賑わっておりました。たくさん子ども達が中体連大会等で輝いてくれており、結果を楽しみに待ちたいと思います。

私からの報告は以上です。ご質問等はありませんか。（なし。）

教育長 それでは、議案・議事の審議に入ります。本日は報告が 1 件、報告事項が 2 件となっております。

では、まず報告第 16 号「伊万里市図書館協議会委員の委嘱について」、事務局から説明をお願いします。

市民図書館統括管理者 （報告第 16 号について説明）

※学校教育関係者の役員異動により、任期途中での交替

教育長 ただ今説明がございましたが、ご質問ご意見をお願いします。（なし。）

教育長 続いて、報告事項に移ります。

報告事項の 1 つ目、「市町村教育委員会研究協議会報告について」、6 月 26 日に市町村教育委員会研究協議会オンライン研修がございました。酒見委員さんと山口委員さんと私の 3 名が参加しましたので、その研修報告をお願いしたいと思います。

酒見委員 私が参加しました 2 つのテーマ「いじめ対策」と「学校の規模適正・適正配置」についてご報告します。

まず、いじめ対策については、私を含め 6 名のグループで規模的には同じくらいの自治体の方々と協議しましたが、これまで何回もこの議題が取り上げられていて、それほど新しい事例はないように思いました。どこも早めの認知、どのようにして子ども達の訴えを早く受け止めることができるか、それから事例が出てきた場合の対処方法など、取り組んでいることはどこも同じようなものと感じました。伊万里市でもしておりますが、端末を利用した生徒の心の健康チェックですね、毎日やっているとところもあれば、月に 1 度というところもあり、方法は異なっておりました。月に 1 度のところは内容をより詳しく、毎日のところは本当に気持ちだけという、いろいろな学校で取組をしているなと感じました。佐渡市ではいじめ対応のフロー図を作成されており、佐賀は県で作成されておりますが、もし起きた場合はこのフロー図に基づき対応していくということで、全学校に配付し統一しているとのことでした。向日市では、いじめを見つけた生徒たちの声を聴こうということで、生徒から情報が入った場合は、子ども達へありがたうの声掛けをしているとのことでした。大野城市ではスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員を図っており、令和 7 年度はスクールカウンセラーが市配置で 4 名、スクールソーシャル

ワーカーが6名と令和6年度に比べて3名ほど増員をしていて相談体制の強化を図っているとのことでした。また、幸手市ではいろいろな相談員の増設ということで、幸手市さわやか相談員を各中学校に1名常駐している、または幸手市ふれあい相談員を中学校区に1名配置して、町自体で相談員配置を心掛けているとのことでした。日南市ではいじめに関する不登校が発覚した場合、通例は1ヶ月でとっていますが、1〜2日で市教委に報告することになっていて、対応を早くするという一方で、報告を受け対策を講じていくという運用がされているようです。最近ではいじめの加害者の問題、被害者が嫌な思いをしたらいじめであるというのが国の方針であります。被害者側のみの意見をとると、加害者の保護者が問題提起し、揉めることに繋がるのではないかと意見もありました。加害者が本当に加害者なのか、注意して見ていかなくてはならないと思います。

適正規模については、伊万里市が進んでおり、他市はどこも検討段階で、幸手市はスクールバスの導入について検討されていきました。他市では市の財政状況が厳しく、統合を検討したいが、校舎建築等も伴うため、なかなか進まないとのことでした。以上、報告いたします。

教育長

ありがとうございました。では、山口委員さんから報告をお願いします。

山口委員

私は、不登校対策に参加いたしました。グループ討議の前段にありました文部科学省からの説明で、児童生徒数が減る中で、不登校者数は増えているという話がありましたが、グループ内の自治体でも不登校者数は増えているようでした。どこでも教育支援センターや校内フリースクールなど設置されていました。どの市も伊万里市と変わらないソーシャルワーカーの配置数でした。特に気になったのが、教育委員会と全ての教育施設で不登校傾向の児童生徒の情報を教育支援シートというものを作成し、情報を共有、一元管理しているとのことでした。月に7日以上休みがある子を対象にシートを作成されるそうです。不登校対策委員会にかけるそうですが、そのシートには「なんでもメモ」というのがあり、その子に関わった大人が誰でも気づいたことを書き、情報を共有し、支援を行うというもので、1人の生徒に対して全員が関わり、子ども達も複数の先生と関わることで、学校復帰へと繋がるのではと思いました。みんなが関わることで少しずつ改善できているのではないかと感じま

した。亀山市では、サークルルームというのがあり、市立図書館を不登校児童のために開放する取組ですが、学校に行きたくないといったときに居場所の1つとして提供し、不登校支援室として利用しているものでした。サークルルームとして設置しているので、教員免許を持った先生が常駐しているとのことでした。また、低学年の子どもに不登校が増えていることもあり、教育・福祉の連携が重要であるとの意見がありました。

適正規模・適正配置については、児童減少でこれから先、統廃合をしなければならないという自治体がほとんどでした。みやま市では、統廃合に向けて再編計画を策定されておりました。瀬戸内市では小規模校が3校あり、全校それぞれ30名くらいであります。統廃合の話は全く進まず、現時点では行政から統廃合の予定はないと言われているそうです。しかしながら、子ども達のことを考えると、クラスにはある一定数の人数が必要であり、どのように義務教育学校を新設されたのか、統廃合に向けてどのように話を進められたのかお尋ねされておりました。伊万里市では、協議会を立ち上げ、地域と学校、教育委員会で何度も話し合いを行い、進めていったことをお話ししました。みやま市では、PTAのほかに、校区住民に対する説明会も実施されています。人数が少ないから統廃合と簡単にいかないのだなと感じました。どの自治体も大きな喫緊の課題として捉えているのだなと感じました。以上です。

教育長

ありがとうございました。私は、教育委員会の機能強化、活性化についてのテーマでしたが、中身は規模適正化の話がなされて、教育委員会で1番話題となっている学校統合をどうするかというのが、各地域での大きな課題であるようでした。また、総合教育会議の回数についてもありまして、伊万里市では2回行っていますが、だいたい平均くらいで、会議の中身についても紹介がありましたが、市長部局との連携が重要であると話しました。ほかには、教育委員の年齢層や職、元教員の割合なども話題となりました。伊万里市の紹介をたくさんさせていただきましたが、今回の研修後の教育委員さんの事例発表や学校訪問、校長面談の立会いなどは珍しく、良い印象を持たれたようでした。全体的には問題化、課題化ができていないようでした。

地域と学校との連携協働については、伊万里市では令和3年度からコミュニティスクールに取り組んでおりますが、まだ今からというところが多くあり、取組を行っている自治体がそれぞれ内容を紹介しました。課題としては、学校が関わる地域づく

りまではなかなか届かない、手探りでやり始めるがどうしても学校が地域に依存した形になって、地域の力を借りて学校づくりが行われているコミュニティスクールが多いようでした。学校の子供も達が地域づくりにどれだけ関われるか、また、学校に関わる地域の方の高齢化が1番の課題であり、若手の方がいない、もちろんPTA 育友会はあるが、地域づくりで若者がもっと関わってくればといった声もありました。伊万里市では、市内の高校生が頑張ってくれて、地域の学校に高校生が出てきてくれていると紹介しました。報告は以上です。

研修報告について、質問等はございませんでしょうか。（なし。）

参加された委員さんは、今回の研修会はどうでしたか。

酒見委員 テーマに変化がなくて、内容に進展がないように思いました。

教育長 教育委員さんの研修として実施されていますが、少しマンネリ化している気がします。

酒見委員 G I G Aスクールなど、もっと発展する余地があるのでその辺の話ができたらと思いました。部活動地域連携など他の自治体ではどう進んでいるのか知りたいと思いました。

藤田委員 研修報告を受け、その後の進展があまりないように感じます。

教育長 来年度の研修のあり方については、意見できる場がありましたら、意見を申したいと思えます。

教育長 次に、教育長会議の報告を行います。
（特例任用制度の導入について）
（給特法等の一部を改正する法律について）

教育長 それでは、「6 その他」に移ります。
次回の定例教育委員会の日程について事務局からお願いします。

教育総務課総務企画係長 次回は、8月27日(水)13時30分から、第3会議室で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育長 この日程でよろしいでしょうか。（はい。）

それでは、行事予定等事務連絡をお願いします。

教育総務課長	(行事予定等について説明)
生涯学習課長	(行事予定等について説明)
スポーツ課副課長	(行事予定等について説明)
市民図書館統括管理者	(行事予定等について説明)
学校教育課長	(行事予定等について説明)

教育長	全体を通して、ご質問はございませんか。(なし。)
-----	--------------------------

教育長	それでは、以上をもちまして、令和7年7月の定例教育委員会を閉会します。
-----	-------------------------------------

(15 時 00 分 閉会)